

チームけせんの和 だより

2015

vol.7

10月号

発行 陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字鳴石42-5 TEL 0192-54-2111 FAX 0192-55-6118



チームけせんの和に寄せて

岩手県高齢者福祉生活協同組合 すずらん 生活相談員 坂本 華奈子

TKWD（チームけせんの和だより）を御覧の皆さん、いつもお世話になっております。すずらんサービス 生活相談員の坂本華奈子（通称：すずらんの坂本）です。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、少し自己紹介をさせていただきます。私は生まれも育ちも嫁ぎ先もこの気仙地区です！そのお陰で、仕事をしていて、なまりが分からないなんてことはほとんどありません。むしろ、職員や利用者さんに、「若いのに、そんなごどよく知ってっこと〜」と関心されることの方が多いです（笑）。それもこれも、気仙に育ったからこそではないかと思えます。（祖父や祖母が大好きというの大きい関係している気がしますが…）介護の仕事に携わって5年が経ち、結婚、出産、子育てと仕事以外にもたくさんの経験をさせて頂いています。最近、利用者さんには「としよったな〜」と言われ、こんな私でも多少のショックを受けているんです…（笑）

さて、すずらんは末崎町から現在の米崎町和野に移転して約1年が経とうとしています。訪問介護事業所とサービスの2事業所を行っております。職員は男性4名、女性26名、合わせて30名。年齢も様々（上は70代、下は20代）です。様々なのは年齢だけではないですよ！（笑）デイサービスでは、米崎町、小友町、広田町の利用者さんが中心に利用されています。1日14名の定員で、朝来所されてから夕方帰る（帰宅の車内でも）まで「賑やか」に過ぎて頂けるよう、職員が踊りを踊ったり、利用者さんと一緒にレク活動に参加（時には職員も夢中になっていたり（笑））して過ぎて頂いています。現在は敬老会に向けて、職員は芸に磨きをかけている真っ最中です！

すずらんでは、私以外にも「劇団ばば☆」に松子役で「千葉」（写真：右）、美術で「中野」（写真：左）が参加しています。研修や交流会でも、皆さんに顔と名前を覚えて頂き、関係を築いて頂いていることが何よりで、今後も皆さんと顔の見える関係を築き、深めていけたらと思います。

終わりになりますが、毎月発行中の「すずらんだより」も合わせて御覧くださいね★つたない文章でしたが、読んで頂きありがとうございました。





チームけせんの和に寄せて

たんぼぼ堂機能訓練デイサービスセンター 生活相談員 金野 友 弘

いつもお世話になっております。たんぼぼ堂機能訓練デイサービスセンターです。このたび、たんぼぼ堂を紹介させていただくことになりましたが、ごくごく普通のデイサービスのため、何をどう紹介すればよいのか非常に迷ってしまいます。

ただ、それだけでは企画枠を無駄使いしてしまいますので、簡単に紹介させていただきます。機能訓練デイサービスセンターと謳っている以上、午前中はダンベルやゴムバンドを使って約60分ほどの軽運動の時間を設けさせていただいております。

しかし、たんぼぼ堂における一番の機能訓練は「年齢とともに失われた、ごくごく普通の日常を取り戻すこと」にあります。どういうことかは、たんぼぼ堂の玄関をくぐっていただければ、すぐにわかっていただけたと思います。

今後とも、たんぼぼ堂機能訓練デイサービスセンターをどうぞよろしくお願いたします。



チームけせんの和 活動報告



H 27年7月22日

平成27年度 第2回研修会（50人参加）

テーマ ビデオ上映会 劇団ばば☆「塩を減らそう！」
視察研修報告 新潟県新潟市の「実家の茶の間」と
宮城県大崎市の「穂波の郷クリニック」

事例検討 1事例

ビデオ上映会は、5月30日「健康の集い」での公演分を披露した。音声の間き取れなさはあったものの劇団員の立派な演技と観客の笑い声が身近に感じられた。視察報告は、地域で支えあう取り組みの先取りをしている2つの地域からのレポートで、共感できるものが多々あり陸前高田市でも先進事例に倣って何かをしなければという気持ちにさせられた。事例検討は、話し合いの時間が20分程とは思えないほどの意見が出されそれぞれの職種の強みが伝わってきた。多職種で検討することの意義が見え、ケアマネジャーはひとりで抱え込まなくてもいい安心感が生まれたような気がした。



個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。地域に共通した課題を明確化する。共有された地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくり、さらには介護保険事業計画への反映などの政策形成につなげる会議。(厚生労働省ホームページより)

第1回目を横田町で行いました。「横田に住んで良かった」と思えるまちづくりをめざし、コミュニティ推進協議会、民生委員、保健推進員、女性会、保育協会、学童クラブ、NPOなど横田町を拠点に活動されている機関や幹部交番に参加いただきました。

第1回目として、「横田町の強み」「横田町に住んでいて困ったこと」をテーマに意見を出し合いました。「強み」として、自然が豊か、住んでいる方が穏やか、食料が自給自足できる、川の駅があってイベントや交流ができる、など、多くの横田町住民から共通した意見が出ました。

「横田町に住んでいて困ったこと」として、移動手段がない、1箇所で買い物が進まない、集まる場所はあるが機会がないなどの意見が出され、参加者で共有しました。

また、今回の参加者は50、60歳代の方が多かったので高齢者の方や、中学生などの若者にはそれぞれの困りごとがあると思われるが今回は出ていないなど、会の運営についても課題があげられました。

今後は月1回程度継続して開催予定です。今回出た課題と横田町の方が「こんなまちにしたい」をどのように実現させていくのかを、協議したいと思います。

さらに、横田町だけでなく全町で開催できるように進めていきたいと思っています。

(地域包括支援センター 蒲生)



H27年8月24日

平成27年度 第3回研修会 (57人参加)

研修報告と事例検討の実施

第3回研修会では、石木幹人会長より「認知症の初期対応について」の研修報告がありました。また、出席者全員で「あゆみ居宅介護支援高田事業所」の千葉祐志ケアマネジャーが提供して下さった事例の検討を行いました。認知機能の障害がある独居の高齢男性の事例でし

たが、医療/介護/福祉の専門家だけではなく、警察や近所の方や民生委員など、男性を支える方々が参加して行われた「地域ケア会議」も紹介され、病気や障害を抱えながら自宅で一人で暮らす方を地域の皆でどう支えるか、参考になった事例でした。



★劇団ばばば☆ 公演報告★

8月27日、小友町の交流センター「やちだて」で、第4回目の公演が行われました。当日は地域住民の方10人が訪れ冒頭に石木会長が高血圧に関する講話を行い、寸劇終了後は高血圧や熱中症等について質問に答える時間もあり、気軽で楽しい学習できたことで食生活に対する意識を高めることができました。

第5回目は、9月8日に米崎地区コミュニティセンターで公演しました。約30人の町民を前に最高の演技を披露し、大きな拍手をいただきました。



在宅療養を支える会 「チームけせんの和」への 寄付報告

Maccoさん

愛知県にお住まいで趣味以上仕事未満でpianoを弾いたり作詞作曲歌を歌っている方です。(Maccoさんのブログ・

プロフィールから) 東日本大震災の災害ボランティアで来県し岩手が大好きになり、8月21日「劇団ばばば☆の活動に役立ててください。」と、CDの売り上げの一部をご寄付いただきました。また、陸前高田ロータリークラブを通して東京新橋ロータリークラブの「あじさい会」様からもチームけせんの和にご寄付いただきました。ありがとうございました。



編集後記

記録的な猛暑はいつだったかと思えるほどの涼しい朝晩になりました。災害公営住宅下和野団地「はまらせん農園」の畑も夏野菜は姿を消し、大根・人参・白菜の秋野菜に変わりました。季節の変わり目は、衣服の微調整がとても大切です。首まわりを暖めて手洗いをしっかりと、十分なウィルス対策をして快適な秋を過ごしたいものです。

「チームけせんの和だより」では、常時原稿募集しております。秋の夜長に一筆いかがでしょうか。